

2018年5月14日

SUBARU WRX STI がニュルブルクリンク 24 時間レースでクラス優勝

SUBARUのモータースポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナショナル(STI)*¹は、第46回ニュルブルクリンク24時間レース(ドイツ、5月11日～13日)に市販車ベースのレースカー「SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2018」で出場し、SP3Tクラス*²で優勝を果たしました。

「SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2018」(ドライバー:カルロ・ヴァン・ダム/ティム・シュリック/山内英輝/井口卓人)は、SP3Tクラスのポールポジションからスタート。きわめて過酷なコースを走行する中で、序盤はトラブルに見舞われて首位を奪われたものの、マシンはスバルディーラーメカニック6人を含む整備チームの迅速かつ的確な対応によって無事コースに復帰。ドライバー陣が徐々にその差を詰めていきました。そして、レース開始から約10時間、SUBARU/STIチームがクラス首位を奪回した頃から強い雨や風、終盤には中断になるほどの霧にも見舞われましたが、シンメトリカルAWDを搭載したWRX STIに、悪天候は相対的に有利に働き、上位クラスの車両も次々に捉える走りを見せました。チェッカー1時間前にエンジントラブルでピットインを余儀なくされたものの、最後までチーム一丸となって快走したSUBARU/STIチームは、最終的な総合順位は62位とし、SP3Tクラスの頂点に立ちました。SUBARU/STIチームとSUBARU WRX STIのクラス優勝は、2011年の初優勝以来5度目。3連覇を阻まれた2017年の雪辱を果たしました。

「究極の一般公道」「緑の地獄」とも言われるニュルブルクリンク・サーキットにおける24時間レースでのクラス優勝により、SUBARU車はその信頼性や耐久性、高次元のパフォーマンスをあらためて実証することができました。

SUBARUとSTIは、モータースポーツにおいても確かなモノづくりによる「安心と楽しさ」を実現し、今後も世界中のお客様の信頼と期待に応えていきます。

<車 両> SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2018

<総 監 督> 辰己英治

<ドライバー> カルロ・ヴァン・ダム(オランダ)、ティム・シュリック(ドイツ)、山内英輝、井口卓人

レース詳細については、下記オフィシャルWEB サイトをご覧ください。

【スバルモータースポーツマガジン】<http://www.subaru-msm.com/2018/nbr/>

【スバルオフィシャルサイト NBR CHALLENGE 2018 特設ページ】 <http://sp.subaru.jp/nbr24h/>

*1:スバルテクニカインターナショナル(株)(代表:平川良夫、東京都三鷹市、略称:STI)

*2:排気量2リットル以下のターボ車のクラス

